

2022年度の事業報告書

2022年1月1日から2022年12月31日まで

特定非営利活動法人寺子屋プロジェクト

1 事業実施の方針

- ・以下の事業を実施した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (単位：千円)
①子どもを中心に幅広い世代が集まる学びの場を運営する寺子屋運営事業	・園児から高校生までの子どもたちと、幅広い世代の大人たちが集まる学びの場の運営や、探究学習、プログラミング学習などの教育サービスを行う。	(A) 300回 (B) 京都市内の寺社、オンライン (C) 40人	(D) 学びの場の参加者 (E) のべ3040人	6668
②子育て・教育活動を行おうとする寺社や地域団体などを支援する寺子屋開設支援事業	・各地の寺社や地域団体などと連携し、より良い子育て・教育の場を実現するための支援活動を行う。	(A) 20回 (B) 京都市内の寺社、滋賀県長浜市の公共施設、オンライン (C) 4人	(D) ワークショップ等への参加者 (E) のべ50人	192
③子育て・教育活動を行おうとする社会人に運営のノウハウを伝える社会人教育事業	・子育て・教育活動を行おうとする人を対象にした連続的な講座を行う。 ・本年度は、新型コロナウイルスの感染状況を考慮して実施を見送った。	—	—	—
④学校や教育委員会などと連携して公教育の質の向上を目指す公教育	・各地の教育委員会などと連携し、学校教育や土曜学習等の質を高めるための支援活動を行う。 ・本年度は、実施しなかった。	—	—	—

連携事業				
⑤書籍・電子媒体等を発行してより良い子育て・教育の普及を図る出版事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寺子屋運営事業や寺子屋開設支援事業で得た知見を生かし、書籍等を出版する。</li> <li>・本年度は、団体ホームページ以外にもプログラミング学習に興味を持つ人が無料で利用できる情報サイトを制作・公開した。</li> </ul>	(A) 10回 (B) オンライン (C) 8人	(D) ウェブサイトの閲覧者 (E) のべ1000人	136
⑥その他この法人の目的を達成するために必要な事業		—	—	—

### 3 収支の状況

2022年度の経常収益は7,368,623円、経常費用は9,913,145円、当期経常増減額は▲2,544,522円、前期からの繰越分と合わせた次期繰越正味財産額は6,529,683円となった（詳細は活動計算書を参照）。前年度は京都高度技術研究所や阪急阪神ホールディングスからの補助金/助成金があったのに対し、今年度は補助金/助成金がなかったため減収になり、一方で今後の事業展開を見据えて職員採用を行ったため、大幅な赤字となった。

### 4 今後の事業の方針

2023年度は、塾・習い事型のビジネスモデルからコミュニティによる運営モデルに移行するなど、事業モデルを根本的に見直し、「全員が学習者」というコンセプトをさらに体現する場づくりや組織づくりを進める。また、今年度は年間100万円強だった寄付収入の拡大を図り、受講料がなくても運営できる財務基盤づくりを行う。事業モデルの見直しに伴って2023年度も大幅な赤字となる見通しだが、2024年4月ごろから収支をバランスさせられる状態を目指す。